

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	THE KINETIC		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

**テストボール：THE KINETIC**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

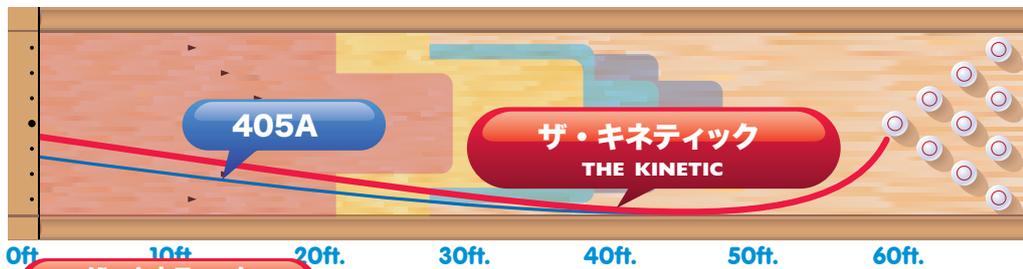
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：405A**

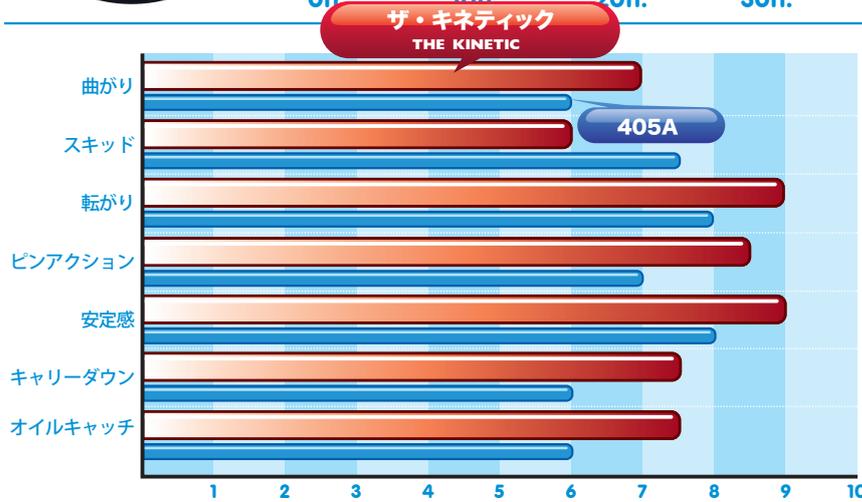
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

ミッドプライスでミディアムコンディションにおけるコストパフォーマンスはこれ以上の組み合わせはないと思わせるほど、日本のマーケットで絶大な人気を誇るシャトルコアのボール。その領域に我々はこれ以上ないほど贅沢な組み合わせをし、「これぞKINETIC!」と絶賛できる"THE KINETIC"をリリース致します。

まず特徴的なのはミッドプライス領域には使えないほど贅沢なHI-パフォーマンスカバーのパールバージョンをこのボールの為に抽出し、シャトルコアの動力とのバランスを整えたところでしょう。エンカウンターと同じようにカバーストックのカテゴリーがHI-パフォーマンスに属していても、パール素材で構成されることでスキッドを重視することができ、キャッチの良さでバックエンドで強い摩擦を得ることができます。

このボールを投げて一番印象に残ったのが「転がり続けるイメージ」でした。そしてキャッチ感はあるものの思っている以上に直進力があり、オイルに弾かれたり、起き上がり過ぎたりのブレが少なく、HookからRoll、ピンヒット後までしっかりとContinuousされています。ミディアムコンディションに特化して考えれば、満点に近いほどスキッド・キャッチ、曲がりピンアクションまでバランスに優れ、幅広いボウラーに幅広いコンディションで気に入って使用して頂けるでしょう。

歴代シャトルコアでのリアクション特性は505Cのようなやや角がある性能か、408Cのように柔らかくキレル2種に分類されますが、このTHE KINETICは408Cのような、初代KINETICのリアクション特性そのものを受け継いでいます。現代のテクノロジーでKINETICを作るとこうなる。まさに至福の時の始まりです。

### 特記事項

**ハイパフォーマンスのパールカバーと鉄板のシャトルコアとの組み合わせ。きっとあなたはこのスペックを見ただけでもこのボールが欲しくなるでしょう。**